

指導案◆ ☆☆高等学校・1～2年生

【社会（公民、現代社会、政治・経済）、国語、総合的な学習、特別活動】

タイトル 「あなただったらどうする？ or あなたはどう思う？」
 - “救急車を利用する人には、お金を払ってもらふことにする” って賛成？反対？
 ～調べてみよう！有料化の議論が出てきた理由。考えてみよう！折り合うための方策？！～

目標（授業のねらい） 立場によって意見が異なることを知り、双方の言い分を踏まえながら、課題を解決するために、いかなる方策が可能かを考えながら、現実的な問題を解決する能力、合意形成の能力を養う。

内容（教材） 最近問題になっている救急車の有料化の議論…。それにはどのような問題状況・背景があるのか、生徒にとっても日々の暮らしの上で比較的身近で考えやすいテーマを素材に、なにゆえに、そのような議論が出てきているのか、有料化について賛成派・反対派に分かれて意見を出し合い（立場討議）、問題・争点の所在を探り、次に、その解決のための方策・対案はないのか、を班活動で考え、発表する。

方法 以下の展開（授業進行案）の通り。アクティブラーニングの手法を用いる。

〈事前の準備〉

・問題状況を記したプリント（ワークシート）を事前に配付しておき、予め、どうしてそのような問題が起こったのか、個人で調べたり考えたりしておく。

〈用意するもの〉

- ・救急車の出勤実態を報道した新聞記事を用いた事前プリント（個々人）
- ・模造紙、マジック（各班の分）。あればホワイトボードも
- ・資料等（個々人もしくは全体で）
- ・会場（机や椅子）の設置

〈展開（60分授業の進行案）〉

*GTとはゲストティーチャー（弁護士）を指す

段階	学習活動・内容	教師○、GT●の役割	時間配分
導入	1 あいさつ	○GTの紹介。●GTの自己紹介 +アイスブレイク。本時のねらいについて簡単に説明する。 「正解」を求めるものではないこと等を告知。	6分
展開①	2 救急車を有料化することについて、賛成派と反対派に分かれ、数人ずつが前に出て、それぞれの立場になりきって、意見を発表する（なぜ、その立場にたつのか、その理由・問題状況の分析など） 発表の様子を聞いた他の生徒は、補足意見や付け加えの意見を発表する。	○発表された意見を板書ないし模造紙（賛成派・反対派につき各々1枚ずつ）に書き出す（簡条書き程度）。 *生徒にやってもらってもOK! ●GTが適宜、フォローする。	11分
展開②	3 賛成派は反対派の意見を受け、反対派は賛成派の意見を受け、それぞれ、反論や根拠の付け加えなどが出来ないか更に考え、発表する。	●GTが適宜、フォローする。 （適宜、板書）	5分
展開③	4 以上の議論を踏まえ、賛成・反対のいずれの立場をとるかを含め（全員一致になる必要なし。票の分かれ具合を記録する。）、問題の所在に気付いたら、それを解決するためには具体的に、どのような方策があり得るか、その場合の課題や問題点は何かも意識しながら、班に分かれて話し合い、その結果を、根拠もまじえて模造紙に書き込む。 5 自分の班の議論状況を発表する。 （*生徒全員がジャッジ（班）として。発表は、予め選んでいたジャッジ班から始める）。	○班の割り振りなど指示。 ○模造紙を張り出す作業の手伝いなど。 ●机間巡視（議論を揺さぶる等々） ●GTによるコメントやフォロー。	12分 （話し合い &書き込む作業） 15分 （発表）
まとめ	6 発表内容に対するGTのコメント。 （時間があれば生徒による感想発表も。） 7 質疑応答	●GTによる総括。併せて、救急車の出勤状況をめぐる幾つかの実際の事件と裁判（判例）についての説明も行う。	9分 2分